

一般社団法人 日本写真測量学会 関西支部
『第16回 若手技術者・研究者による技術研究発表会』開催報告

日本写真測量学会関西支部では、令和2年9月18日（金）に『第16回 若手技術者・研究者による技術研究発表会』をオンラインでの聴講者を含めて59名の参加者（このうち、学生12名、社会人5名の発表者）のもと開催しました。本発表会は、空間情報の生成・利用・応用のあらゆる分野に携わる40歳以下の技術者・研究者の発表技術向上と研究発展に資することを目的としています。なお、本年度から社会人の年齢条件を35歳から40歳へ変更しています。

本年は、COVID-19の拡大状況を鑑み、発表をオンライン（Zoomウェビナー機能を使用）及び会場（i-site なんば）での対面によるハイブリット形式としました。発表者の皆さまには、事前のリハーサルにご参加いただいたこともあり、概ね順調な会の運営となりました。ご協力くださりありがとうございました。

本発表会でのセッションは、修士・博士論文等の執筆のための研究に着手したばかり、あるいは研究の方向性の検討段階での発表の「萌芽的研究」、修士・博士論文等の完成に向けた今後の取りまとめについての発表及び会場を含め討議する「研究・討議」、社内及び個人的な研究成果の発表、社内及び個人的な研究成果の発表、新技術の利用や実務業務内容等の報告、実務を通じてこれまで経験されてきたことや法規制度等に対する論説を対象とする「社会人による研究・技術報告」の3つで構成しています。

「萌芽的研究」では、研究の対象や提案手法の適用性についてなど、研究の背景・目的に関わる質疑がみられました。「研究・討議」では、用語の定義や解析方法の今後の展開の確認など、研究を取りまとめていく上で注意すべきことについての助言などが会場からありました。「社会人による研究・技術報告」では、「技術者として改めて用語を正確に使うように意識した方がよい」といった、今後の実務にも繋がるアドバイスがあるなど、オンラインでの聴講者を含めた活発な議論が展開されました。

本発表会では、発表者の中から本支部役員の審査に基づき、以下の方に「優秀研究発表賞」を授与しました。

本支部では、来年度以降も本発表会を継続していく予定です。支部役員一同、より多くの若手技術者・研究者の参加をお待ち申し上げます。

優秀研究発表賞

日下部 貴也（京都大学大学院）

水口 佳祐（株式会社パスコ）



写真：オンライン発表者に対する会場からの質疑応答